

Welcome to 五高 library

The door to the books

令和5年度
五島高校
図書委員会
4月20日作成
4月28日発行

図書委員
2-4
2-3
2-5
2-5
2-6
2-6

イラスト部
2-1
2-4

こんにちは、図書委員会です。

美しい花が咲き、動物たちの動きも活発になる春です。
新学期が始まり、もうすぐ1ヶ月が経とうとしています。

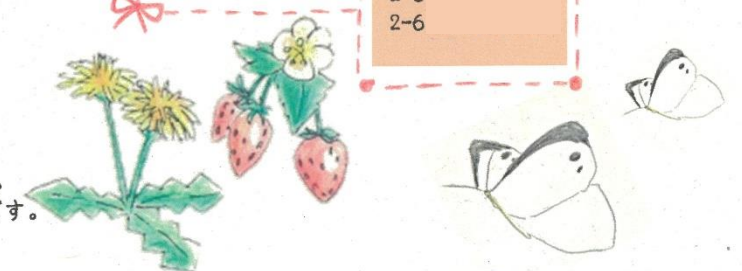
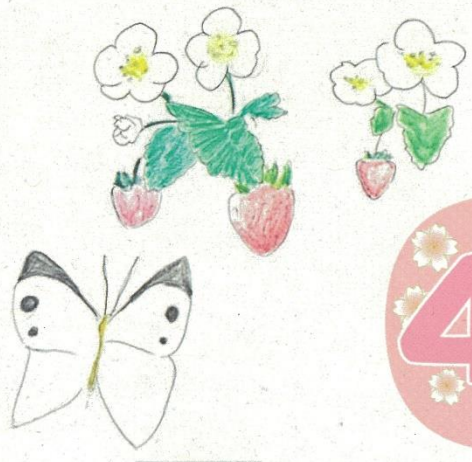
1年生は、まだ不安がたくさんあると思いますが、
楽しいことも沢山あるので、まずは生活リズムを整えましょう。

朝読の10分間は、一斉に与えられた自分だけの時間です。

集中力を高め、リラックスした状態で授業に臨めるといいですね。

今年度のテーマは「ようこそ、五高図書館へ！本の扉を開こう！」です。

4月号は昨年度の図書委員が本の紹介をしてくれます。



考えるマナー

著者：赤瀬川原平 ほか
出版社：中央公論新社

この本は、誰もが身近に感じられる「マナー」が盛り沢山となっています。著者が多い分、自分に当てはまる感性もあれば、そうでない感性もあり、そう言った意味では、いろんな考え方に触れられます。ある国では問題ないことが、他の国ではマナー違反とされることがあるようです。私は「マナー」とは、本来ないものだと思います。その風情が無理矢理、集団に連続させられたからだと思うのです。自分一人の時、他にしている人が誰も居ない場合でもそれを守ることが望ましいと思います。戸惑いの数だけ大人になれるのだからか!? この本を読んで振る舞いについて考えてみましょう!



嘉納治五郎

著者：真田久
出版社：潮文庫

嘉納治五郎は「柔道の父」と言われています。柔道の総本山・講道館を設立し、柔道を日本のみならず世界にまで普及させ、数々の偉業を成し遂げた人です。この物語は、その進取の気性からオリンピックの意義に早くから共鳴し、初の日本開催を誘致するために奔走するお話です。人として大いに尊敬する嘉納先生の名言を紹介します。「時間を最も有効に利用した者に、最も立派な仕事ができる。」高校生活が長いと思うか、短いと思うかは自分次第なんです! このような本に出会うと勉強になります。



勝ちスイッチ

著者：井上尚弥
出版社：秀和システム

この本は、井上尚弥選手のすべてが描かれています。ボクシングを始めた頃のアマチュアからプロへの成功体験は、非常に説得力があります。スーパーボクシングが生まれるには、普段の考える力にあるようです。その考え方はスマートで尊敬します。プライベートや家族に至るまで話してくれるので、ファンにはたまらない必読書です。是非みなさんに読んでほしい一冊です。



99のなみだ 雨

著者：リンダ・ブックス編集部
出版社：リンダ・ブックス

一人の女の子が新幹線の中で、現実ではありえない体験をします。ずっと気にしてなかった母親のことを知るのですが、この新幹線の車窓から女の子が七歳から十八歳までに暮らしていた町の風景が流れます。おもわず涙がでてしまう本です。シリーズもたくさんあります。短編で読みやすいので、是非手に取ってください!

みんな大好き住野よる作品

問題：①～⑩は図書館にある作品です。
右枠の内容に近い作品はどれでしょう!?

- ①この気持ちもいつか忘れる
- ②よるのばけもの
- ③恋とそれとあと全部
- ④か「」く「」し「」ざ「」と「」
- ⑤また同じ夢をみていた
- ⑥君の臍臓をたべたい
- ⑦青くて痛くて脆い
- ⑧麦本三歩の好きなもの
- ⑨腹を割ったら血が出るだけさ

まっと誰にでも「やり直したい」ことがある。

一緒に過ごす、夏の特別な四日間。友達だけ、違う生き物。

まっと、あなたも物語を生きている。みんなの愛する私は作り物でした。



命の大切さについて

2022年様々なニュースが飛び込んできました。

私はその中でも世界中で問題となっている誹謗中傷やロシアによるウクライナの侵攻など命に関わるニュースに目を向けてみました。

心にもないコメントを書き込まれ、精神的に追い詰められて自ら命を絶ってしまう有名人の方や、戦力を使って多くの住民や軍隊の方の命を奪うなど、心を痛みつけるようなニュースが多くなってきました。命というものは、限りがあるものです。生きているうちに悲しいことや楽しいこと、辛いことがあるからこそ尊いものだと思います。

今回は、皆さんに命について真摯に考えてもらうためにオススメの本を3冊紹介します。

「救命センターからの手紙」

1 著者：浜辺祐一
出版社：集英社文庫

突発的な事故や病気で命の危険にさらされた人間を救うべく登場した救命救急センター。ですが、収容された患者の死亡率が3割を超えるという厳しい現実があります。この本には、現実の救命センターで力を尽くされている医師の姿を見ることができ、ドラマとは違ったりアルさを味わえます。私も実際に読んで、患者の救命が果たしてその患者の幸せなのかや、激務の中でも人の気持ちに配慮する姿勢に感銘を受けました。



「君を、死んでも忘れない。」

2 著者：青海野灰
出版社：xi'ia'poo'ras文庫

日々を無気力に生きている高校生・樹の前に現れた少女・ナナミ。

「自分はもうすぐで死ぬ。だから思い出を作りたい。」そんな願いに付き合い始めた樹は毎日色鮮やかなものになっていくのを感じていました。

しかし、ある事件をきっかけに樹は自分が憶えていられる日々が徐々に少なくなることを知ります。もうすぐ死ぬのは彼女ではなく自分だった…？明かされていく真相と二転三転する展開の果てに待っていたのは、不器用ながらも真摯な気持ちを感じさせるラストシーンに注目です！

「いのちの食べかた」

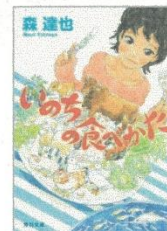
3 著者：森達也
出版社：角川文庫

私たちが普段食べている魚や、牛、豚のお肉はどこからどうやって、やってくるのでしょうか？

おいしいものを食べられるのは、数えきれない「誰か」がいるから。その「誰か」で私たちの暮らしは続いており、知って自ら考えることの大切さを伝えてくれます。

命は巡るもの、何かを食べないと生きていけない私たちにとって、避けられない葛藤が描かれています。

事実を知ることの大切さ、考えることの重要性などたくさん学ぶことができます。



勉強に役立つ本

とても
気になる

スタートの季節ですね。

スポーツも勉強も頑張りたい人に、また勉強方法で悩んでいる人にオススメです。図書館には勉強に役立つ本がたくさんあります。これらの本を読んで、自分に合った勉強法を探してみたいかがでしょうか。

「勉強力がぐんとアップする合格ノート術」

編集：NHK『テストの花道』製作チーム

東大、早稲田、慶応など難関大学に合格した先輩のノート術を知ることができます。絵や写真が多く、読みやすい本です。



中はこんなかんじ！

「読むだけで面白いほど成績が上がる高校生の勉強法」

著者：清水章弘
出版社：KADOKAWA

授業の受け方、復習の方法、記憶術、継続力、読書力、大学受験の6つの項目が漫画を交えて紹介されています。内容を一部紹介します。

<記憶術>

- ① 何回も見る
一回にかける時間は短くていいので回数を増やすことが大切！家のドアに付箋を貼って無理やり見る仕組みを作るのも効果的です。
- ② 人に教える
自分や相手の声で聞いて、耳から情報を入れることで忘れにくくなります。
- ③ 図鑑やネットで調べる・先生に質問する
自分で行動を起こすことで記憶が定着しやすくなります。
- ④ 睡眠時間はしっかり確保する
睡眠には脳を休め、記憶の整理をする役割があります。

